

総合的な学習の時間指導案

日 時 平成24年12月5日(水) 5校時

学 級 名護市立安和小学校 第6学年1組

男子8名 女子7名 計15名

授業者 知念 巧

1 単元名 「勝山の宝でむらおこし」

2 単元目標

- (1) 地域に愛着を持ち、地域の人とのふれあいを通してコミュニケーション能力を身につける。
- (2) 環境を多面的に捉え、解決方法を自ら考え、課題を主体的に解決できる力を身につける。
- (3) 地域の産業について調べ、地域の特色を知り、課題を追究する力を育てる。

3 単元について

(1) 教材観

今回の改訂で総合的な学習の時間のねらいが明確となり、他者と協同して課題を解決する協同的な学習や体験活動、言語活動の充実が求められている。そこで、本単元では、地域の体験活動を通して課題を見付け追究していく資質や能力を育て、自分にできることを考えさせたい。また、地域のよさや課題に関して追究することで、児童に社会参画の態度を育て、地域への愛着や誇りをもたせたいと考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでに育てたシークワサーでゼリーを作ったり、さとうきびから黒糖を作り出す体験をしたり、地域の素材を活用して学習してきた。ものづくりや作業的な活動においては、男女仲良く協同で取り組むことができる。本単元の導入において、児童に「わたしたちの地域の宝」について尋ねたところ、山や海、シークワサーなどの自然に関する項目と、ウシデークや豊年祭、エイサーなどの伝統文化に関する項目を挙げていた。また、これらは自分たちにとって大切なものであり、多くの人たちに知ってもらいたいという気持ちがワークシートの感想から見られた。一方で、「こんなにたくさんあるとは知らなかった。」「わからないこともあるので調べてみたい。」という感想から、児童が地域の特色について多くのことを知っておらず、これまでの地域学習が計画的・縦断的な取り組みとして不十分だったと考える。そこで、本単元では人々や社会、自然とのかかわりを通して、自己との関係や結び付きを考え、そこから生起する問題のよりよい解決を目指した自己の生き方を育む必要があると考える。

(3) 指導観

本単元では、児童が興味関心を持ち、自ら課題を見つけ解決しようとする課題発見・解決能力が育まれるよう、地域の人々と交流し児童相互が協同して課題を解決する活動や、ワークシートを活用して、課題設定や情報の整理・分析を行い、課題追究の見通しをもてる学習活動が展開できるようにしたい。

他者との協同的な活動においては、山羊の飼育体験を行い山羊と携わる人々とのかかわりを図りながら、児童相互で多様な考え方や意見を交流し合う協同的な活動を通して、課題を見つけ見通しや計画をもって追究することで課題発見・解決能力が育まれると考える。

ワークシートにおいては、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の探究的な学習の過程で児童の思考、整理、振り返りなどに活用する。例えば、課題設定の場において、気づきや疑問を類型化させて課題を見出し、テーマとの整合性や実現可能かどうかを話し合い検討させる。また整理・分析の場において、課題の関連性や関係性をまとめてウェビングマップで可視化して構造的にまとめることにより、地域との因果関係を導きだして課題追究の見通しをもつことができると考える。

4 評価について

本研究における評価は、学習指導要領に示された「学習方法に関すること」、「自分に自身に関する

こと」、「他者や社会とのかかわりに関すること」及びその具体として「課題設定の力」、「課題解決の力」、「意思決定・行動力」、「コミュニケーションの力」を評価の観点とした。

評価の 観点	学習方法に関すること		自分自身 に関すること	他者や社会との かかわりに関すること
	課題設定の力	課題解決の力	意思決定・行動力	コミュニケーションの力
単元の 評価 規準	①体験活動を通して生じた気づきや疑問を解決すべき課題を設定している。 ②KJ法的な手法を使って課題を明確にし、追究の見通しをもっている。	①ウェビングを使って学習活動を構想し解決の見通しをもっている。 ②互いの考えを比較したり関連付けたりしながらより適切な解決策を見出している。	①地域と自分とのかかわりを基に、地域に対する思いを明らかにしている。 ②地域に貢献できる活動を考え、力を合わせて実行している。	①地域の人とすすんでかかわり、自分の思いを伝えている。 ②体験活動を通して生じた様々な課題を解決するために、他の児童や地域の方、専門家などの考えや意見、アドバイスなどを積極的に取り入れたり参考にしたりしている。

5 指導計画（16+14時間）

過程	時間	学習活動	○指導の留意点 ◇学習活動に即した評価規準	評価の観点 (評価方法)
課題設定	1	○オリエンテーション（ワークシート1、2） ・地域の宝について考える。	○ワークシートに出し合った考えを整理させ、単元のテーマを決めさせる。	課題設定の力① (行動観察・発言) (ワークシート) コミュニケーションの力① (行動観察・発言)
	2	○「ぐしけんファーム」（ワークシート3） 飼育体験 ・山羊の飼育を体験する。 (エサやり、除糞、搾乳) ・気づいたことや疑問に思ったことを書く。	◇興味を持って体験活動を行うことができる。 ◇体験を通じて課題をもつことができる。 ○体験ごとにワークシートへ記述させる。 ◇課題の解決に向けて地域の活動に参加することができる。	
情報収集	1	○【本時1】（ワークシート4） 課題を設定しよう ・体験から課題を見出し設定する。 ・追究したい課題の見通しをもつ。	○気づきや疑問を付箋紙に記述させ、可視化・共有化して課題を明確にさせる。 ◇課題を共有化・焦点化して、追究したい課題を見出すことができる。	課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート)
	1	○学習計画を立てよう（ワークシート5） ・これから調べていく計画を立てる。	○課題ごとにグループを作り計画を立てさせる。 ◇課題の見通しをもった計画を立てることができる。	
整理・分析	2	○取材の計画を立てよう（ワークシート6、7） ・下調べや面会の予約、体験や見学インタビューの準備をする。	○いつ、どんな方法で調べるか計画を立てさせる。 ◇課題を追究するための方法を知り取り組むことができる。 (国語科との関連)	課題解決の力① (行動観察・発言) コミュニケーションの力② (行動観察・発言) 意思決定・行動力① (ワークシート)
	4	○取材をしよう（ワークシート8、9、10） ・探究活動（体験、見学、インタビューなど）	○取材してわかったことや気づいたことをワークシートに書かせる。 ◇課題について情報を収集することができる。	
まとめ・表現	2	○【本時2】 取材したことを整理しよう（ワークシート11、12） ・新たな課題と解決の見通しをもつ。	○各々調べたことをウェビングマップに載せ共有し構造化させて新たな課題と解決の見通しをもたせる。 ◇情報の中から必要な内容を整理・分析することができる。 (国語科との関連)	課題設定の力② 課題解決の力① 課題解決の力② (行動観察・発言) (ワークシート) コミュニケーションの力② (行動観察・発言) 意思決定・行動力① (学習記録、発表作品) コミュニケーションの力② (行動観察・発言)
	2	○中間発表会の準備をしよう（ワークシート13、14） ・中間発表会の準備をする。	○これまでにわかったことを発表するための準備をさせる。 ◇気づきや考えを文章で表現して整理することができる。 (国語科との関連)	
課題設定	1	○中間発表会・検討会（ワークシート15） ※（ここまで検証授業とする）	◇友達と交流し、気づいたことなど新たな情報を整理し、自己の考えと比較したり関連させたりすることができる。 ◇活動を振り返り、自分の考えを整理することができる。	課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート)
	2	○地域について考えよう（ワークシート16） ・地域のよさや課題を見いだす。	○地域のよさや課題などを調べたことから見付けさせる。 ◇これまでの学習とテーマとの関連や関係について考えることができる。	
情報収集	2	○学習計画を立てよう（ワークシート17） ・下調べやアポイントメント、体験や見学、インタビューの準備をする。	◇課題の見通しをもった計画を立てることができる。 ○いつ、どんな方法で調べるか計画を立てさせる。 ◇課題を追究するための方法を知り取り組むことができる。 (国語科との関連)	課題解決の力② (ワークシート)
	4	○取材をしよう（ワークシート18） ・探究活動を行う。	○取材してわかったことや気づいたことをワークシートに書かせる。 ◇課題について情報を収集することができる。	
整理・分析	2	○取材したことを整理しよう（ワークシート19） ・ウェビングマップで可視化する。	○調べたことをウェビングマップに載せて整理し、構造化させて全体で把握させる。	意思決定・行動力② コミュニケーションの力② 課題設定の力② (行動観察・発言) (ワークシート)
	3	○報告書にまとめよう ・壁新聞、ポスターなど	○これまでに知り得た情報をまとめさせる。 ◇情報の中から必要な内容を整理・分析することができる。	

		○「シークワサー花祭り」で調べたことを発表しよう (ワークシート20) ・活動の取り組みを地域の人や保護者に伝える。	(国語科との関連) ◇学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かすことができる。 ◇相手や目的に応じて、わかりやすくまとめ、表現することができる。(国語科との関連) ◇地域の活動に参加し地域社会に貢献する喜びを実感することができる。	(学習記録、発表作品) 意思決定・行動力② コミュニケーションの力① (行動観察・発言)
--	--	---	---	---

6 本時の学習

(1) 小単元名 「課題を設定しよう」

(2) 本時の目標

課題を共有化・焦点化して、追究したい課題を見出すことができる。

(3) 授業仮説

課題設定の場において、児童個々の課題を付箋紙に書かせ、K J法的な手法を使って課題を全体で共有化・焦点化させることにより、課題を解決しようとする見通しがもてるようになり、追究したい課題を見出すことができるであろう。

(4) 準備

模造紙、付箋紙、太いペン、マグネット、提示カード、ワークシート

(5) 本時の展開

過程	学習活動	○指導の留意点 (評価方法)
導入	1 前時の振り返り ・本時の学習を説明する。 ・ワークシートに書き出した気づきや疑問を確かめる。	○前時の気づきや疑問を振り返らせ、本時の学習の見通しをもたせる。
展開	2 課題の設定 ・ワークシートに書き出した気づきや疑問を付箋に書く。 ・4～5人グループで気づきや疑問をグルーピングして課題を見付ける。 ・各グループからの疑問をまとめ課題を設定する。 ・課題を追究するための方法を考える。	○視覚化のため太いペンを使って付箋に書かせる。 ○K J法的な手法で類型化させる。 ○模造紙を黒板に提示し、各グループから出された課題を共有化、焦点化させ、全体の課題として設定させる。 (行動観察・発言) ◇課題を追究するための方法を出させ、これからの見通しをもたせる。
まとめ	3 本時をまとめる ・設定した課題をワークシートにまとめ、感想を書く。 ・感想を発表して次時の説明をする。	○ワークシートに設定した課題をまとめさせ、感想にこれから追究していく思いや見通しが見えるように書かせる。 (行動観察・発言、ワークシート4)

(6) 板書計画

12/5 (水) 「課題を設定しよう」
めあて これから取り組んでいきたい課題をきめよう

見学はどこに？
 農場 工場
 ○○の畑 ○○さん家
 農林高校や農業大学
 公民館

やぎの飼育体験から

調べる方法は？
 ・インターネット
 ・図書館
 ・インタビュー
 ・見学

インタビューはだれに？
 専門の人
 区長さん
 PTA会長
 ○○のお父さん